

システム要件確認書

※『必須項目』欄が○となっている項目については、当市の必須要件になりますので、1項目でも「対応不可」にてご回答いただいた場合は、自動的に本プロポーザル失格とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

避難行動要支援者名簿管理システム					
No.	質問項目	回答欄	備考欄	備考欄(回答に対し、一部例外や補足等がある場合に追記してください)	必須
■ベンダ情報					
1	事業者名				
2	パッケージ名(提案するシステム及びサブシステムすべてを記載)				
■パッケージの導入実績について					
3	導入団体数を示すこと ※同パッケージにて稼働中の自治体数	0 団体	団体数を記載		
4	うち、人口20万人以上の団体への導入数	0 団体	団体数を記載 ※導入状況の詳細は、別途「業務実績書」に記載すること		
■調達前提条件について					
5	町田市情報セキュリティポリシーを遵守すること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
6	パッケージシステムが利用するプリンタは、町田市が設置したレーザープリンター(一般的なオフィス用)を利用すること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
7	構築作業はできる限り自社で行い、町田市での作業は最低限とすること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
■契約について					
8	町田市の標準契約書及び約款を適用すること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
9	情報セキュリティ確保・個人情報保護のための特記仕様書を適用すること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
10	賃貸借契約について、自ら行うことができない場合又は他の事業者に行わせる場合は、当該協力会社の法人名を記載すること。		法人名を記載		
11	稼働時期は、2024年4月とすること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
■システム要件について					
12	システムはクラウドサービス(SaaS方式)または町田市クラウドサーバープラットフォーム(ガバメントクラウド:AWS)にて提供すること。	(リストから選択)	1-1.対応可(AWS)、1-2.対応可(SaaS)、2.対応不可		○
13	No.15で「1-2.対応可(SaaS)」を選択した場合、クラウドサービス(SaaS方式)による導入実績があること。	(リストから選択)	1.有、2.無、3.該当しない		
14	No.15で「1-2.対応可(SaaS)」を選択した場合、利用しているクラウド環境が、ISMクラウドサービスリストに登録されていること。それ以外の場合には別紙「データセンタ要件」を満たすこと。		登録されている場合にはクラウドサービス名称を記載。それ以外の場合には別紙「データセンタ要件」で回答		
15	職員が使用する端末にミドルウェア等のインストールをすることなく、ブラウザでシステムが利用できること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		
16	Microsoft Edge、Google Chrome、に対応すること。その他、対応しているブラウザを記載すること。		ブラウザ名を記載		○
17	クライアント端末は、AVD(Microsoft Azure Virtual Desktop)のマルチセッション環境で利用できること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
18	Webブラウザについて、サポート切れ前に後続のバージョンの動作保証をすること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
19	画面構成は、WEBアクセシビリティに配慮したものであること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
20	システム保守内でソフトウェアがバージョンアップされ(基本的には年1回程度、但し関係法令改正によるシステムの見直し等が発生した場合は適宜実施)、機能強化が図られるシステムであること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		
21	バージョンアップ及びカスタマイズ等で機能に変更があった際は、仕様書、操作マニュアル等のドキュメントを最新版に更新し、提供すること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
22	システムの稼働時間に関しては柔軟に対応すること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
23	バージョンアップ等、資産の適用にあたっては、品質を保障するエビデンスを用意すること。また、資産適用手順等のドキュメントを用意すること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
24	全てのデータのバックアップが自動(日次、週次、月次等により選択可能でかつ複数での選択も可能)でとれること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
■カスタマイズについて					
25	カスタマイズは原則行わず、代替案を提示すること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
26	やむをえずカスタマイズを行う場合、他の機能やバージョンアップへの影響がないような方法を提案すること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
27	カスタマイズ内容について、構築・運用のライフサイクルを通じて管理を行い、適宜町田市に内容が分かる仕様書とともに一覧表を提出すること	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
■セキュリティについて					
28	パッケージシステムの構築・運用・保守を実施する部門が、ISO/IEC 27001(ISMS)の認証を受け、適切に更新をしていること。	(リストから選択)	1.有、2.無		○
29	クライアントからサーバへの通信について、SSL/TLSの暗号化通信を行うHTTPSへ対応すること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
30	外部からの不正アクセスや内部の不正等の脅威に備え、適切な処置ができていること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
31	外部からの不正アクセスや内部の不正等が発生した場合、ログインアクセス、データベースアクセスのログを取得し、IDや処理単位等で必要に応じて追跡できること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
32	システムに保管されているデータのうち、パスワード等の重要なデータはデータベース内で暗号化されていること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
33	データベース全体の暗号化に対応すること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		
34	サーバー全体の暗号化に対応すること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
35	保管期限を超過した不要データを自動で消去できる仕組みを有すること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
36	SQLインジェクション、クロスサイトスクリプト、その他の脅威に問題なく対応していること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
37	権限の切り分けができること。(例:運用・保守のためのベンダ権限、システム管理のための情報部門課権限、業務主管課権限、業務参照課権限)	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
38	ユーザ自身でパスワードの管理(変更)が行えること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
39	パスワードを変更せずに一定期間が経過した場合、利用者に対してパスワードの変更を求められることが可能であること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		
40	パスワードが有効期限切れしている場合、利用を行わせないこと。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○

No.	質問項目	回答欄	備考欄	備考欄(回答に対し、一部例外や補足等がある場合に追記してください)	必須
41	パスワードの最低文字数、最低文字種を制限することができること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
42	パスワード入力時の連続誤り回数によるロックアウトの設定ができること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
43	管理者が、利用者の新規登録・変更・削除を行えること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
44	管理者が、利用者のパスワードの初期化を行えること。パスワードは有効期限の設定および変更後初回ログイン時の強制変更設定ができること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
45	アクセスログは、条件に該当する操作履歴をCSV形式で出力できること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
46	情報セキュリティに関する監査及び調査に協力すること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
47	データの持ち出しの際には可搬媒体の入出庫管理を行うとともに、管理状況を報告すること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
48	アクセスログとして、ログインユーザーIDの他、接続している端末ID、端末のログインユーザー等の情報を保有できること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
■文字コード・文字フォントについて					
49	文字コードはUnicode(UTF-8/16)に対応すること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
50	符号化文字集合はJIS 2004以降のバージョンに対応していること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
51	市の指定する外字を登録、更新できること。なお、外字フォントは市より提供するものとする。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
52	2025年度末までに、国が定める文字情報基盤に対応すること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
■保守、サポート体制について					
53	システムは基本的に自動運転とし、メンテナンス等は調整の上原則利用時間外で行うこと。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
54	サーバーメンテナンス等の作業予定および実績の報告を月次で行うこと。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
55	稼働から5年以上のサービス提供を確保すること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
56	法令改正時に、パッケージ提供元として速やかに対応することを担保し、説明すること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
57	組織改正について、保守対応を行うこと。(例:組織マスタの変更に伴う関連データの変更など)	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
58	バージョンアップ等の保守作業を行う際は、事前に調整の上、原則利用時間外で行うこと。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
59	システムの操作やバッチ処理手順等に関する業務主管課からの質問に対応すること。 ※通常は規定様式にてメール問合せ、緊急時は電話問合せを想定	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
■障害時の対応					
60	稼働監視、ログ監視、性能監視、URL監視を実施可能で、障害発生時には障害内容が把握できること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
61	管理者からの問い合わせ及び障害連絡を受付可能な本システム専用の受付窓口を設けること。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
■操作研修・マニュアル					
62	本稼働前に、職員向けの操作研修を行うこと。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
63	操作研修の資料作成を行うこと。	(リストから選択)	1.対応可、2.対応不可		○
■町田市基礎情報(参考)					
64	人口	430,423人	(2023年3月1日時点)		
65	操作職員数	10課約35人	(予定)		
66	避難行動要支援者数	12,566人	(2022年度)		